



インフルエンザの流行も少し落ち着いてきました。ご家庭でのご配慮のおかげと、大変感謝しております

後悔、^{あと}後に立たず??

朝の登校時、子どもたちがいろんな話をしてくれます。少し前の話になりますが、1月^{いちがつ}は令和6年の始まりということで、たくさんの目標ややりたいことなどの、^{はつもの}初物の話に花が咲きました。

「今年、ちゃんと起きる。おうちの人から起こされないようにする」

「サッカーも好きだけど、野球もやってみたい」 ←大谷グローブに感化されたか?

そんな中でも、今年度(小学校の令和5年度は3月まで)を振り返る話題も結構ありました。特に、失敗の話。聞き耳を立てていると、大きく分けると2種類の失敗があるようです。

「シャーペン使えるようにきまりを作ったんだけど、うまくいかんところがあったなあ〜」

「テスト失敗した! やっぱり勉強しておけばよかったな〜」

この2つ、失敗のやり方がちょっと違いますね。「したけれど失敗」と「しなくて失敗」。実際、この2つの失敗、どちらが後悔しそうですか? 私は、「しなくても失敗」だと思う。

日本のことわざに「後悔先に立たず」というものがあります。これは、「何かしてしまった後で悔やんでも、もうすでに取り返しがつかない。だから、あとで後悔しないように、事前に熟慮すべし」という意味。「したけど失敗」のほうですね。

うん? しかしながら、「したけど失敗」は、本当の意味での失敗なのか??

榎木小では、本年度「みんなでなりたい自分になる」という目標を立てて、様々なことに挑戦してきました。運動会や学習発表会などの大きな行事もそう。お笑いステージの企画とかペットボトルを集めてワクチンを送ろうなど、委員会を中心とした活動も盛んにおこなわれています。そして、各学年の目標達成のために、学級や学年全体であいさつ運動やボランティア掃除などにも取り組んできました。一人一人の目標も定め、日々の授業に勤んできました。もちろん、失敗もあったでしょう。でも、どれも道半ば。だから後悔というより、成功(成長)への只中といったほうがいい。



むしろ、「しなくて失敗」のほうが、「したけど失敗」より後悔の度合いが強い。

だって、していないんですもの。やればできたのか、できなかったのか、すら「していない」んだから、よくわからない。成功(成長)への一助とはいいたいですねえ。

いよいよ本年度のフィナーレを目前に控え、「したけど失敗」よりも「しなくて失敗」の方が大きな問題です。○学年でやり残したことはなかったのか。この際この機会に、この友達と今年のうちにやりたいと思ったことややっておけばよかったことをやり切りたいものです。慎重に、じっくりと、自分自身の心に耳を傾け、大切な節目を過ごしてほしいと願っています。

そう、「後悔、^{あと}後に立たず」。みんなで、今年度をやり切っちゃいましょう。

